

自慢のダンスで106人がバトル

苫小牧市内のダンススクール「FORCE」(吉田徹代表)は2月3日、苫小牧市総合体育館(末広町3)で即興ダンスを競う「dance battle FORCE」を開きました。

イベントは2014年から不定期開催し、今回で12回目。苫小牧市内のほか札幌や室蘭などから106人のヒップホップダンサーが参加しました。

ダンスバトルとは、DJなどが選曲した音楽で対峙するダンサーが即興で交互に躍り、どちらが優れていたかを判定する競技。「キッズ」と「フリー」、2人对2人の「2on2」の部門に分かれ、参加者たちは自慢のダンスを披露しました。

会場には参加者の家族やダンスファンが多く詰め掛け、熱いバトルに大きな声援を送っていました。



◀即興ダンスで技術を競う



◀各部門の優勝者(前列)と審判員(主催者提供)

いきいきひろば

会場に笑顔いっぱい 二胡とギターのロビーコンサート



▲演奏を披露するShokoさんとKen-Gさん

男女平等参画推進センター(苫小牧市若草町3)が14日に開いた「ロビーコンサート」に、大勢の市民が詰めかけました。

市内在住の二胡奏者Shokoさんと札幌在住のギター奏者Ken-Gさんが、春を感じさせる「赤いスイートピー」や「春よ来い」などを織り交ぜ、10曲を披露。「365日の紙飛行機」では、会場で配られた紙飛行機を来場者が飛ばし、曲を盛り上げました。

桜木町在住の70代女性は「二胡とギターで弾く蘇州夜曲がとても良かった。アンコールでは『ハナミズキ』を演奏してくれて、思いがけずステキな曲が聴けました」と話し、うれしそうに会場を後にしていました。

道新杯小学生アイスホッケー大会

Aチームバーニングバレット優勝

第48回道新杯争奪小学生アイスホッケー大会(苫小牧アイスホッケー連盟主催)が1月17、18日、苫小牧市内で開かれました。5、6年生主体のAチームは決勝戦でバーニングバレットがBLUEサンダーズを14対0で下し、4年ぶりの優勝に輝きました。

今シーズンのバーニングバレットは積極的な攻撃を展開し、Aチームは全勝という圧倒的な強さを見せました。今大会では、アイスホッケー少年男子の国際大会「第59回ケベック国際ピーウィー大会」(2月7、8日)に5人が日本選抜チームの一員として参加していたため、主要メンバーを欠いての出場でした。今大会で主将を務めた久保琉之介くん(緑小6年)は、「みんなを守ってみんなでどんどん攻めて優勝を勝ち取れました。とてもうれしいです」と笑顔を見せました。

3、4年生主体のBチーム戦ではレッドスターズが優勝、苫小牧Westアイスキングスが準優勝を果たしました。



▶優勝したバーニングバレット(上)とレッドスターズ

